



「声」の欄・投稿規定

- ★「声」の欄は読者の皆さんのお考えを、直接誌面に反映させるためのページです。皮膚病の診療に関する日ごろのご意見、新しいアイデア、ご提言などをお気軽にお寄せください。とくに日夜第一線で診療に活躍しておられる先生方からのご投稿を切望します。
- ★「声」の欄には、また皮膚病に関する“質疑応答”を取り上げます。お寄せいただいたご質問は、その方面の権威に依頼して適切な回答を用意し、誌上で発表いたします。とくに回答者を指名されても結構です。
- ★字数は一般のご投稿は1,200字以内、質問は600字以内を原則とします。
- ★ご投稿は郵送のほか、FAX（番号：03-3984-1003）とE-mail（アドレス：hifubyoh-shinryoh@kk-kyowa.co.jp）にでも受け付けております。
- ★原稿には住所・氏名を明記していただきます。

歯のアマルガムを除去したら 長年の微熱が出なくなった

2012年に中山秀夫先生が『アレルギーの臨床』誌に重症の脱毛症でパッチテスト陽性の歯科金属除去が15%の症例で有効だったと報告し、2017年の第33回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会で大阪市立大学皮膚科から難治性の円形脱毛症で歯にアマルガム（灰色の詰め物、水銀合金）があり、水銀のパッチテスト陽性でアマルガムを除去したら脱毛が軽快したと報告があった。

2018年12月の日本皮膚科学会山形地方会で筆者は、2017～2018年で歯にアマルガムがある脱毛患者11例で水銀のパッチテストが疑陽性か陽性のため、8例でアマルガムを除去したら4例で脱毛の軽快がみられたと報告した。

【患者1】49歳、女。2020年6月初診。最近脱毛が気になる→びまん性脱毛症であった。8月にアマルガム3カ所あり、水銀を含む金属のパッチテストをしたが陽性はなかった。同月アマルガム3カ所を除去したら、これまで疲れると微熱が出ていたが出なくなった。

2020年11月の日本皮膚科学会福島地方会で筆者は2017～2020年の乾癬患者11人で歯にアマルガムがあり、水銀を含む金属のパッチテストを行い水銀が疑陽性か陽性の7人でアマルガム除去を行い5人で乾癬皮膚の軽快がみられたことを報告した。

【患者2】72歳、女。2007年から乾癬で治療中。歯にアマルガム1カ所あり、2018年5月に水銀を含む金属のパッチテストをしたがすべて陰性であった。1年後の2019年6月にアマルガム1カ所を除去したら30年来の

37℃台前半の微熱が出なくなった。

今回の2例は脱毛症や乾癬で歯にアマルガムがあり、水銀のパッチテストは陰性であったが「歯に水銀はないほうが体にいいでしょう」と除去した症例であった。そうしたらなぜか長年の微熱が出なくなった。アマルガム除去の副産物であろうか。暗示効果ではないと思う。なお昔、主に水銀体温計破損によるmercury exanthemは歯科でアマルガム充填時にもおこり、全身の皮膚炎とともに2/3の例で発熱を認めることが知られていた¹⁾。

歯のアマルガム除去は歯科にて処置は1カ所1回、1,000円程度で終わり痛みもなく患者さんの負担は少ない。アマルガムが製造中止になりまもなく10年になるが、中高年ではまだときどきみられる。筆者はこれまで難治性の湿疹で水銀のパッチテストが陽性のためアマルガムを除去したら湿疹が軽快した症例も報告してきた。

湿疹、脱毛症、乾癬の治療に難渋したら、一度は口の中をみて、アマルガムがないかチェックしてみたい。もしアマルガムがあれば水銀のパッチテストをして、陽性であればアマルガムを除去してみる。水銀のパッチテスト陰性でもアマルガムを除去すると今回のような予想外のご利益があったりもする。

〈文献〉

- 1) 大久保坦子：医薬の門 35：300, 1995

角田 孝彦
(山形市立病院済生館皮膚科)